

<p>發行所 會社 京城日報社</p> <p>電話 一〇三三 三三三三 二九六四</p> <p>郵政 郵便 第三三三號 第三三三號</p> <p>代價 三〇〇〇</p>		<p>定本 價</p> <p>五錢</p> <p>六錢</p> <p>七錢</p> <p>八錢</p> <p>九錢</p> <p>一圓</p> <p>一圓二錢</p> <p>一圓四錢</p> <p>一圓六錢</p> <p>一圓八錢</p> <p>二圓</p> <p>二圓二錢</p> <p>二圓四錢</p> <p>二圓六錢</p> <p>二圓八錢</p> <p>三圓</p> <p>三圓二錢</p> <p>三圓四錢</p> <p>三圓六錢</p> <p>三圓八錢</p> <p>四圓</p> <p>四圓二錢</p> <p>四圓四錢</p> <p>四圓六錢</p> <p>四圓八錢</p> <p>五圓</p> <p>五圓二錢</p> <p>五圓四錢</p> <p>五圓六錢</p> <p>五圓八錢</p> <p>六圓</p> <p>六圓二錢</p> <p>六圓四錢</p> <p>六圓六錢</p> <p>六圓八錢</p> <p>七圓</p> <p>七圓二錢</p> <p>七圓四錢</p> <p>七圓六錢</p> <p>七圓八錢</p> <p>八圓</p> <p>八圓二錢</p> <p>八圓四錢</p> <p>八圓六錢</p> <p>八圓八錢</p> <p>九圓</p> <p>九圓二錢</p> <p>九圓四錢</p> <p>九圓六錢</p> <p>九圓八錢</p> <p>十圓</p> <p>十圓二錢</p> <p>十圓四錢</p> <p>十圓六錢</p> <p>十圓八錢</p> <p>十一圓</p> <p>十一圓二錢</p> <p>十一圓四錢</p> <p>十一圓六錢</p> <p>十一圓八錢</p> <p>十二圓</p> <p>十二圓二錢</p> <p>十二圓四錢</p> <p>十二圓六錢</p> <p>十二圓八錢</p> <p>十三圓</p> <p>十三圓二錢</p> <p>十三圓四錢</p> <p>十三圓六錢</p> <p>十三圓八錢</p> <p>十四圓</p> <p>十四圓二錢</p> <p>十四圓四錢</p> <p>十四圓六錢</p> <p>十四圓八錢</p> <p>十五圓</p> <p>十五圓二錢</p> <p>十五圓四錢</p> <p>十五圓六錢</p> <p>十五圓八錢</p> <p>十六圓</p> <p>十六圓二錢</p> <p>十六圓四錢</p> <p>十六圓六錢</p> <p>十六圓八錢</p> <p>十七圓</p> <p>十七圓二錢</p> <p>十七圓四錢</p> <p>十七圓六錢</p> <p>十七圓八錢</p> <p>十八圓</p> <p>十八圓二錢</p> <p>十八圓四錢</p> <p>十八圓六錢</p> <p>十八圓八錢</p> <p>十九圓</p> <p>十九圓二錢</p> <p>十九圓四錢</p> <p>十九圓六錢</p> <p>十九圓八錢</p> <p>二十圓</p> <p>二十圓二錢</p> <p>二十圓四錢</p> <p>二十圓六錢</p> <p>二十圓八錢</p>		<p>廣君 料</p> <p>五錢</p> <p>六錢</p> <p>七錢</p> <p>八錢</p> <p>九錢</p> <p>一圓</p> <p>一圓二錢</p> <p>一圓四錢</p> <p>一圓六錢</p> <p>一圓八錢</p> <p>二圓</p> <p>二圓二錢</p> <p>二圓四錢</p> <p>二圓六錢</p> <p>二圓八錢</p> <p>三圓</p> <p>三圓二錢</p> <p>三圓四錢</p> <p>三圓六錢</p> <p>三圓八錢</p> <p>四圓</p> <p>四圓二錢</p> <p>四圓四錢</p> <p>四圓六錢</p> <p>四圓八錢</p> <p>五圓</p> <p>五圓二錢</p> <p>五圓四錢</p> <p>五圓六錢</p> <p>五圓八錢</p> <p>六圓</p> <p>六圓二錢</p> <p>六圓四錢</p> <p>六圓六錢</p> <p>六圓八錢</p> <p>七圓</p> <p>七圓二錢</p> <p>七圓四錢</p> <p>七圓六錢</p> <p>七圓八錢</p> <p>八圓</p> <p>八圓二錢</p> <p>八圓四錢</p> <p>八圓六錢</p> <p>八圓八錢</p> <p>九圓</p> <p>九圓二錢</p> <p>九圓四錢</p> <p>九圓六錢</p> <p>九圓八錢</p> <p>十圓</p> <p>十圓二錢</p> <p>十圓四錢</p> <p>十圓六錢</p> <p>十圓八錢</p> <p>十一圓</p> <p>十一圓二錢</p> <p>十一圓四錢</p> <p>十一圓六錢</p> <p>十一圓八錢</p> <p>十二圓</p> <p>十二圓二錢</p> <p>十二圓四錢</p> <p>十二圓六錢</p> <p>十二圓八錢</p> <p>十三圓</p> <p>十三圓二錢</p> <p>十三圓四錢</p> <p>十三圓六錢</p> <p>十三圓八錢</p> <p>十四圓</p> <p>十四圓二錢</p> <p>十四圓四錢</p> <p>十四圓六錢</p> <p>十四圓八錢</p> <p>十五圓</p> <p>十五圓二錢</p> <p>十五圓四錢</p> <p>十五圓六錢</p> <p>十五圓八錢</p> <p>十六圓</p> <p>十六圓二錢</p> <p>十六圓四錢</p> <p>十六圓六錢</p> <p>十六圓八錢</p> <p>十七圓</p> <p>十七圓二錢</p> <p>十七圓四錢</p> <p>十七圓六錢</p> <p>十七圓八錢</p> <p>十八圓</p> <p>十八圓二錢</p> <p>十八圓四錢</p> <p>十八圓六錢</p> <p>十八圓八錢</p> <p>十九圓</p> <p>十九圓二錢</p> <p>十九圓四錢</p> <p>十九圓六錢</p> <p>十九圓八錢</p> <p>二十圓</p> <p>二十圓二錢</p> <p>二十圓四錢</p> <p>二十圓六錢</p> <p>二十圓八錢</p>		<p>印行 編輯 人</p> <p>小川 直 介</p>	
--	--	---	--	---	--	------------------------------	--

石先生を追悼す
遠望偲ふや春の雨 鞆城
兒等ともならむ武蔵野に 牛嶺

▲場面軟化

仁川米豆取引所仲買人

電話 二八二三

時に銀行の處分とが或は投げ賣りの正米もたれば免かれぬ現下仁用の憂に三十萬入寸

仁川期米の

虎の勢を以つて奔騰を告げたる
米も一度び反落してより人氣は益
惡化し再び二四割に暴落してメ

窮を排きしも畢竟敵を輸入に且つ
秋篠國軍需米云々を標榜して勝を
めたる甘味の忘れずして再び之

注目に値すべし。貿易と仕手の關係
至正米事情は今後如何に期米の上
現るべきか既に相場も相當に下落

に新貨値を演出せざるは單に人氣に
致せる相場とは斷じ得ざるべく何
なれば古々米は既に拂底に近く更
市中商米は悉く無餘賣入

は貧乏なく且つ新スリ米の季節上
は賤れたる者あるも近來産米
は幾許の方法の進歩に依りて新

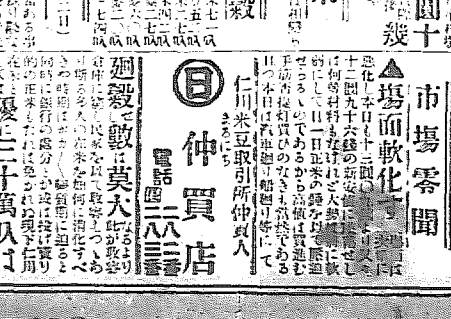
其根柢を失ふると共に早晚更に流弊方の煎れ出なくを保せず斯く

十二日の五月限
寄付十三圓九錢

三
十
三
圓
丁
二 五
錢度錢

月限	三萬二千五百石
月限	二萬五千二百五十石

100



募集規程
 ▲用紙は端書久しう
 形の洋紙一枚に紙上の雅緻又は
 其の外に住所氏
 ▲用紙は端書久しう
 形の洋紙一枚に紙上の雅緻又は
 其の外に住所氏
くも
 墨少雨後晴
 (廿四日誌)
 三月十四
 問 答
 山田 六六
 六六
 三十三分
 山田 六六
 六六
 三十三分

新少年

四月號 愈出づ

■大懸賞日本十傑投票當選者發表
■大長篇炎のS組以下紙上活躍

送料送●錢二十價定冊一
社版出和平兌發
七八七八東京岩根町錦田神京東

三月二十五日より三日間

◎春見切半衿賣出し

◎新柄子ル、セル賣出し

◎特製洋傘賣出し

並に格安洋傘色々

京城奇三越呉服店

露國政變

兩陛下監禁せられ給はん

露國電報 露國憲法に依りて露國新政府は命令を發し皇帝、皇后をツァールスコエ、セロに送り監禁し奉らん

五億弗支出可決せん

米國臨時議會と陸海利益保護 露國電報 露國臨時議會は米國に對し五億弗の借款を請求する可きことを決定せり

伯林大暴動と軍隊

アムステルダム來電 食糧品缺乏に關聯して伯林に大規模の暴動起りたる爲め國境警備隊は自治維持の爲め伯林に向け出發せり

英軍ソム地方占領

二十一日發表のヘグ報告の公報に據るに英軍はソム地方を占領せり

佛軍ハム敵兵掃撲

佛軍は二十一日ハム地方の敵兵を掃撲せり

佛軍ソアンに前進

敵の破壊せる諸村落を奪還す

總督清州巡視

記念植樹及撮影

鮮鐵荷動状況

三月上旬に於ける 露國電報 露國鐵道省は三月上旬の鮮鐵荷動状況を報告せり

客月京城商況

大豆 燕京日記 京城の大豆相場は客月に下落せり

支那通歴

燕京日記 支那の歴史と現在の状況について記す

加工貿易状況

原料輸入と加工品の輸出状況について記す

小日本

長崎の日本船に對する攻撃 露國電報 露國艦隊は長崎の日本船を攻撃せり

製粉開始確定

大坂第一製粉所の建設が決定せり

寄附金應募額

慈善事業の寄附金募集状況について記す

母比飲用者検査

酒類消費の規制と検査について記す

明治大學學生募集

明治大學の募集要項と入學試験について記す

明治高等學校募集

明治高等學校の募集要項と入學試験について記す

主婦之友

主婦のための生活情報とレシピについて記す

自動車學校

自動車の運転免許取得と教育について記す

會員募集

各種団体の會員募集について記す

朝鮮受難者救済

朝鮮の難民救済活動について記す

増訂經濟大意

経済学の大綱と増訂版について記す

古名婦鑑

古代の女性名鑑について記す

京城高等普通
學校卒業式

[illegible]

三日月會
大評判

品質・價格モ
直ぐ御使用可也

此元 三日月製造合名會
飯田商亡

京日案内

通一兩金 番外 國金銀貨
中位國中位換算止の加引
中國以の申付金、特に要引

春
 の帽子は優美かる
 日ノ出向鳥印帽子
 下中折!!!
 鼠!!

併したるが幸に折柄該舎には居
 合はせたるもの無かりし爲め人畜等
 の死傷はなかりしと雖も器具其他の
 被害夥しきもの如く目下調査中
 被害(と云ふ特電)

本語で答辭

子高等普通學校卒業式

朝鮮貴族の婦人等多數踴躍あり
 また學校剛よりは校長李貞淑夫人
 趙男爵母室李學淵澤女史、松本雅
 太郎氏出席

式は君が代の唱歌始

けり。所味がある。そして着いた之れ
 で臨みて、答へれば出来ある體だし、
 畢に到る老人の會話、ききさる△應酬、
 いかに小節で、進退よく、親切の
 い、丁寧、全體の音節振りがはつきり
 氣が利いてゐるが足り足りない。廣く
 いふならんもト突きて、離れ、△厥次の新
 内は朗吟よりうなとので、陽氣になるたか
 外からの足踏か、
 團圓狂歌は講義、いふ話をした、よく
 の語に、それ、その、と、息がある。語
 の語に、叩き、それ、の、息がある。語
 と、町内の若い者が、へた、庚子、の、
 まされ、か、一句、切、を、する、後、ま、
 い、の、が、の、所、か、力、足、り、な、か、今
 一息ある。△新、終、に、に、で、し、

[illegible]

入院隨意

電話 二六〇八番

酒井婦人病院

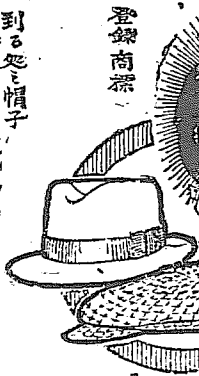
院長 酒井一郎

京城永樂町二丁目(商品陳列部裏門通)

到る処に帽子
雜貨店まで商標御注意
御購求を願上候

發賣先 東京 吉安商店

登録商標



辛ヤツブ!!!

清快優佳
種類豐富

茶!!!

校長、學監、訓導等の役卒業生總代李超玉(本科)張世浪、普通の流暢な日本語の答辭ありて式を終る。猶ほ本校は明治卅九年創立以來、既に**十一箇年**を、**關し校長に**は朝鮮貴族の望業趙熙龍、舊宮にとりて他に朝鮮女子教育の功勞によりて勲六等賞冠章を授けられたる湖澤女史の學監たるあり本科卒業生の多きは地方公立普通學校の数員となる者歟は女子高等普通學校師範科入學者等ありて普通科は多く本科進級の密で成績品

いゝ思ふなり
脚部川口紫雲、總務長、須磨の信濃と云き謝を
出した誠實なるものなり。櫻井しんかのりは
本誌にて讀みつけたもので、現存のものより
それから見て「つづ」原稿の用字體の服
装と、し紅雲が勤める影がうす清濁分な
と思ふ、今では電氣手袋といふ人々の手
袋も、今年的一座は若手勤めに各々手紙
に落着くのは、買つておく大抵

最近露西亞から歸朝した某氏のはなしによれば露西亞では此の頃非常優秀な小銃が發明された▲また大砲の構造が



わさか
この新聞

電話談なし
二九三番（御照會を乞）

有望事業談渡なし 姓名在社

奉陪 官公使教諭（舊秘書長信）
京坂本町五條西側又は御來訪
用貨物郵送又ハ御來訪
金銀市街

金融商人官吏（秘密嚴守）
御便向文外來試（信用便宜）
報知（移轉）旭町一江崎
黄金丁一丁目三九番倉庫東

製菓博士と云ふる者
三五名募集希望者兄同進來職
世間小學校生に限る
皇親葉博士本城原屋主主人

靴下襪手袋
靴下襪手袋
靴下襪手袋

界 嚙 味 油 醬
 社 ぽ 油 醬 ウ リ ー コ ツ キ
 式 株 油 醬 本 日 〇 港 川 仁) ———

緒遣北軍艦隊に餘りあるものゝ、さ
 らに陳列ありて若く度々卒業式の
 よろこびは午後四時迄つゞきたり

米國觀光團通過

來る四月二日京城南大門發、午前八
 時三十分一列車にて釜山著、同午後八
 時三十分出發、連絡船にて下の關に向
 ふべき米國人觀光團一行十八名の
 姓名は次の如し

ハグニス夫人及び子、クラフ、ロットン夫
 人、グリス夫人、ケサ、ル、コスタ夫人、ベツチナ

著々實戰に用ゐられつゝある▲猶ほ
 最も驚くべきは大砲發射の際に於け
 る音波を計り波動の角度と感じに
 よつて敵の砲兵陣地の距離及び△
 向を測定する器械が發明されたと
 是は露西亞の軍方何百里といふ大
 森林に於ては敵の砲兵陣地の位置
 を知るに困難であるから露軍の必要に
 迫られて出来たものだらうが露西亞

といふ國は發明に於ても意外のもの
 のが出来るとのはなし

[illegible]

主 霸 の
 元 造 釀 贈 味 れ
 (原 全 場 工 所)

[illegible]

昔い眉根に八の字を描き出しながら膝を進めた。
「貴方達は一體何を被仰つてらつしやるんで御座いますね。」
「お主婚さん、空處けやと困るね。昨夜の契約通に相代さんを貰ひ受に來たんぢや。金は此の通り耳を揃へてらな。」
村山は、此奴慾の爲めに氣が據つたものに違ひないと思つたので、少し居直り氣味の手荒な詠調を以て、詰賢するやうに言ふ。
「空處けや致しません。貴方達こそ空處けて被るんぢやありませんか。それどころ、先刻の五十圓丈では氣の毒だから、もう五十圓も下さらうと云ふお話なら、頂戴じといても差支へは御座いませぬがね。」とお禮は、眞の先で笑つた。
で、幸三郎の如を脱んだ。
幸三郎は、全く孤に魅されたやうな氣色で、口も何も利き得ずに顔を組んで笑つ立つたのであつた。
「おい、祥孝君、何か君の方に心當りがあるかね。」
餘りの不思議さに、村山は、憂へて叱り飛ばすやうに訊ねたのであつた。
「ない、一向にそんな心當りはない。」と、幸三郎は、聲にまで憤りを含んで答へた。
「それぢや、今來た壯い若者さん、云ふのは、貴方達を出し抜いて、何ちやんを横奪りに來たものど見ねすね。」とお禮も、今に至つてか、疑めてそれと心付いたらしいので、
「そりや全く人間の驕りだ。」と、村山は、切齒を爲ながら叫んだ。
「驕りと云ふよりか、豪氣龍抜け

停雲會詩集

乾乾 癸卯 有竹園 韓興敦

維鵬爲巢古木幹 有羽來歸自千巖
飛翬豈識人間事 悲吟無端嘆目翳
雲中梅 二百 南湖 肝付宗次
別皆風韻散南家 陸有庵 柳磯堂
雲壓寒梅掩俗空 楚焚空笑兩三花
之夢 一 如卿

遙寄竹枝憶斜斜 山下引泉供素茶
雪壓帆樵渡一洲 暗香深處是梅花
之夢 日 切爾雅

孤村即事 同 人
孤村影落夕陽斜 斷橋江村兩岸花
獨有詩人迷去路 前峯依舊見春霞
之夢 日 遇境妙妙

早春登蓬陽閣 撫 松
振衣千仞市塵空 搖尾清宵帶輕暖
江北江南春尚淺 峽猿遠近翠微中
之夢 日 逢春爲生過妙

新燕 押 同 人
雁花南浦 梨花春 飛去飛來訴語頻
爲船南渡王謝宅 如今不復昔 柳

婦人生法は大體右の通りですが、如何に養生に手を盡しても、肝心な服薬をせなかつたり或は藥の選擇を誤つては折角の自宅治療にもなりません、多くの婦人藥中、効驗最も確證神速で世の信用厚きは、現今我國一流の婦人科専門の

中將湯は世界到處の藥店にあるが本舖東京日本橋通四津村順天堂本店及び大隈藥房大寶寺町津村順天堂支店に容納し出でたは夫々病に應じ効目一層適切な加減藥あり市内は無料配達する。尙本舖發行の「婦人衛生手引」は斯達専門

大醫卅餘名から、名譽の實職を中將湯湯め、何よりも先づ專此の藥を服用し、傷寒壯散で腹部を洗ひ、夜寝む時子宮塞中將湯を挿入れて置けば初願一箇難で難症と言はれたものでも速かに快癒の幸福を得られます

の醫學士天本治先生が、婦人諸の家庭療法、月經時の手當產後後の心得等を平易に詳述され、讀者は勿論精健なも是非必ず讀みて良醫でなす

料として郵券二錢を添へ御申込あれば直に郵代で進呈致します

至極適當なことてういます。

最も効驗ある良藥

大醫卅餘名から、名譽の實職を中將湯湯め、何よりも先づ專此の藥を服用し、傷寒壯散で腹部を洗ひ、夜寝む時子宮塞中將湯を挿入れて置けば初願一箇難で難症と言はれたものでも速かに快癒の幸福を得られます

の醫學士天本治先生が、婦人諸の家庭療法、月經時の手當產後後の心得等を平易に詳述され、讀者は勿論精健なも是非必ず讀みて良醫でなす

料として郵券二錢を添へ御申込あれば直に郵代で進呈致します



最上醬油
朝鮮仁川
杉醬油釀造場

[illegible]

智丸	三月	日役五時出帆
東丸	四月十七日	後二時出帆
山丸	四月	日役二時出帆
州丸	三月	日役五時出帆
南丸	三月	日役二時出帆
東丸	四月九日	正午出帆
連泊船	三月廿六日	
平丸	三月三日	午後二時出帆
高丸	三月十五日	前六時出帆
北丸	三月十五日	前六時出帆
隆丸	三月十五日	前六時出帆
大板船會社川支店		
大阪通運會社東京支店		
電話七〇八番		